

法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ 運用ガイド

この度は、「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」をご利用いただき誠にありがとうございます。

「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」は、ソリマチ株式会社の「会計王」の会計データを「法人税の達人」に取り込むためのプログラムです。このマニュアルでは、「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」のインストール手順や操作手順について説明しています。



目次

1.対応製品	3
2.動作環境	4
3.インストール方法	5
パターン①「達人Cube」からアップデートする場合	5
パターン②「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合	9
4.運用方法	11
パターン①「会計王」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	11
パターン②「会計王」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	12
5.操作方法	13
「法人税の達人（平成21年度以降用）from 会計王19シリーズ」を使用する前に	13
パターン①「会計王」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合	15
パターン②「会計王」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合	19
6.連動対象項目	25
「会計王」から連動するデータ（連動元）	25
「法人税の達人」に連動するデータ（連動先）	26
貸借対照表	28
損益計算書	29
製造原価報告書	30
株主資本等変動計算書	31
個別注記表	33
7.アンインストール方法	34
8.著作権・免責等に関する注意事項	35

1.対応製品

「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」に対応するNTTデータの対応製品及びソリマチの対応製品は以下のとおりです。

対応製品	対応アプリケーション
NTTデータ対応製品	法人税の達人（平成29年度版） Professional Edition
	法人税の達人（平成29年度版） Standard Edition
ソリマチ対応製品	会計王19
	会計王19PRO
	会計王19 介護事業所スタイル

2.動作環境

「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」に必要な動作環境は「1.対応製品」(P.3)に記載の「ソリマチ対応製品」と同様です。



注意

- 「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」のインストールやプログラムの起動を行うには、「1.対応製品」(P.3)に記載の「ソリマチ対応製品」のいずれかがインストールされている必要があります。
- 「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」の起動中に、「会計王」の起動、及びアンインストールを行うことができません。

3.インストール方法

「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」をインストールする手順は、「達人Cube」からアップデートする方法と「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする方法の2パターンあります。



注意

インストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

パターン①

「達人Cube」からアップデートする場合

1. 「達人Cube」にログインし、[アップデート]をクリックします。



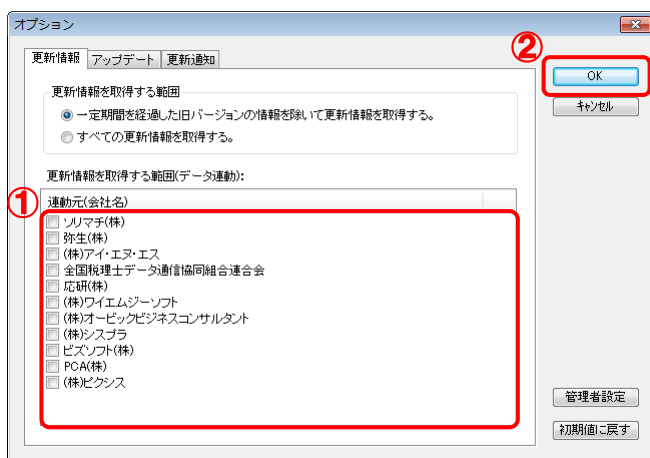
[アップデート] 画面が表示されます。

2. ユーティリティ[オプション]をクリックします。



[オプション] 画面が表示されます。

3. [更新情報]タブー[更新情報を取得する範囲(データ連動)]において該当の[連動元(会社名)]をクリックしてチェックを付け(①)、[OK]ボタンをクリックします(②)。



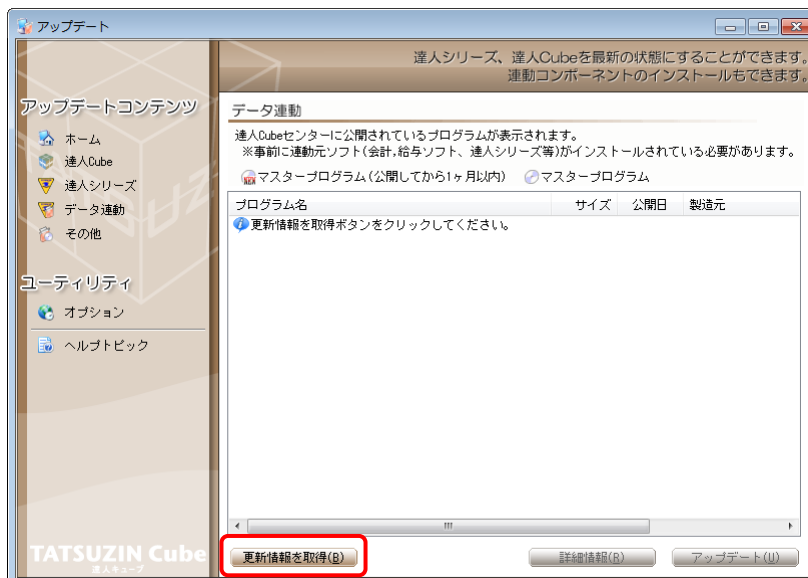
[アップデート] 画面に戻ります。

4. アップデートコンテンツ[データ連動]をクリックします。



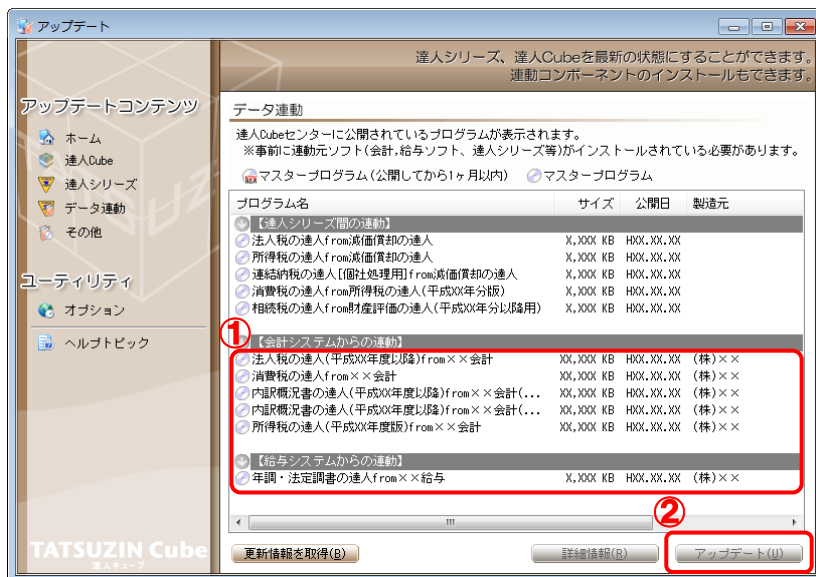
[データ連動] 画面が表示されます。

5. [更新情報を取得]ボタンをクリックします。



連動コンポーネントが表示されます。

6. 該当の連動コンポーネントをクリックして選択し(①)、[アップデート]ボタンをクリックします(②)。



[InstallShield Wizard] 画面が表示されます。

7. [次へ]ボタンをクリックします。

[インストール先の設定] 画面が表示されます。

8. インストール先のフォルダを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。

[設定内容の確認] 画面が表示されます。

※ インストール先を変更する場合は[変更]ボタンをクリックします。

9. [インストール]ボタンをクリックします。

インストールが開始されます。

10. 完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」のインストールは完了です。

パターン②

「達人」公式サイトからファイルをダウンロードする場合

1. 「達人」オフィシャルサイトの連動会計・給与ソフトの連動コンポーネントダウンロードページ (http://www.tatsuzin.info/rendousoft/rendou_download.html)を開きます。



2. 該当の「達人シリーズ」のソフト名をクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカー一覧画面が表示されます。
3. 該当の連動会計・給与ソフトメーカーの[ダウンロード]をクリックします。
該当の連動会計・給与ソフトメーカーの最新の連動コンポーネント一覧画面が表示されます。
4. 該当の連動コンポーネントの[連動コンポーネントをダウンロードする]ボタンをクリックします。
画面の一番下に通知バーが表示されます。
5. [保存]ボタンの右端にある[▼]ボタンをクリックし、表示されるメニュー[名前を付けて保存]をクリックします。
[名前を付けて保存] 画面が表示されます。

- 6. 保存する場所を指定し、[保存]ボタンをクリックします。**
保存する場所に指定した場所に、ファイルがダウンロードされます。
- 7. 手順5でダウンロードしたファイルをダブルクリックします。**
[InstallShield Wizard] 画面が表示されます。
- 8. [次へ]ボタンをクリックします。**
[インストール先の設定] 画面が表示されます。
- 9. インストール先のフォルダを確認し、[次へ]ボタンをクリックします。**
[設定内容の確認] 画面が表示されます。
※ インストール先を変更する場合は [変更] ボタンをクリックします。
- 10. [インストール]ボタンをクリックします。**
インストールが開始されます。
- 11. 完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。**

以上で、「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」のインストールは完了です。

4.運用方法

「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」は、「会計王」のデータから中間ファイルを作成します。

データ取り込みの操作方法は、「会計王」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

パターン①

「会計王」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

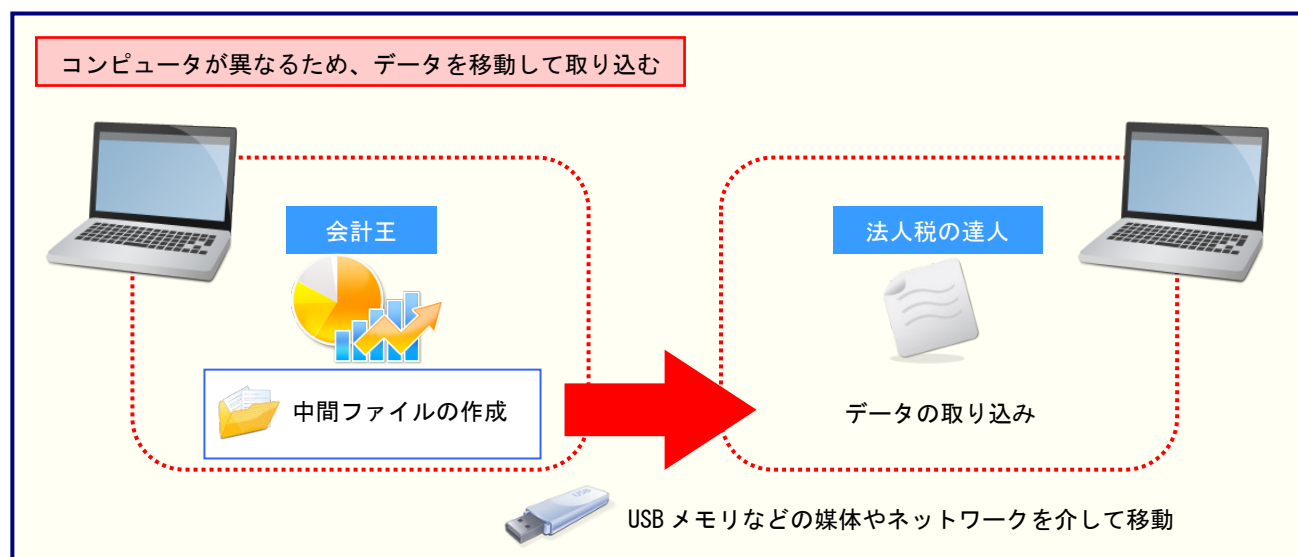
「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」で作成された中間ファイルを直接「法人税の達人」に取り込みます。



パターン②

「会計王」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

「会計王」がインストールされているコンピュータで中間ファイルを作成し、「法人税の達人」がインストールされているコンピュータで取り込みます。



5.操作方法

「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」を使って、以下の手順で連動します。
事前に「6.連動対象項目」(P.25)を必ずお読みください。

操作手順は、「会計王」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかで異なります。

「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」を使用する前に

「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」を使用する前に以下の手順で、「会計王」に達人用のユーザーを登録してください。この手順は、「会計王」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされているかどうかにかかわらず、共通の手順となります。



注意

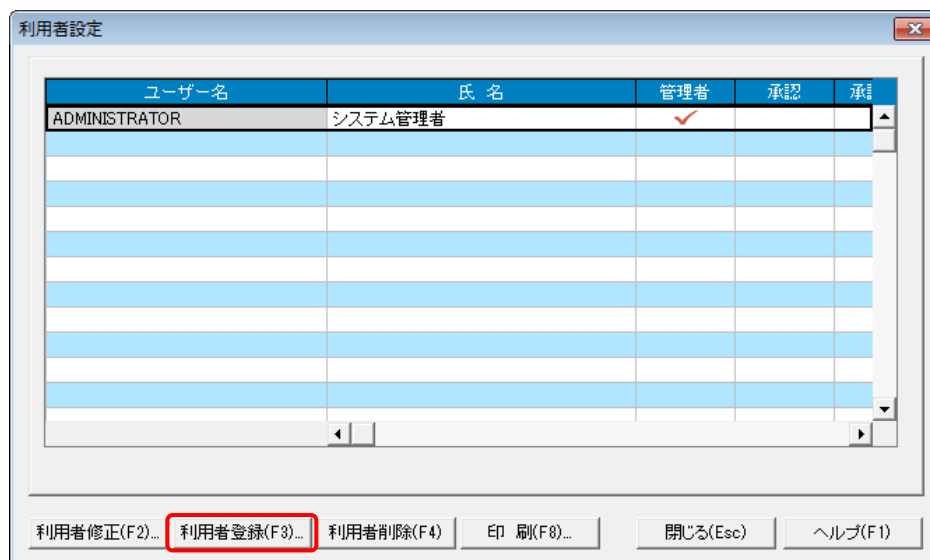
達人用のユーザーを登録しないと「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」を使用できません。

1. 「会計王」を起動し、メニュー[ファイル]ー[利用者設定]をクリックします。



[利用者設定] 画面が表示されます。

2. [利用者登録]ボタンをクリックします。



[利用者登録] 画面が表示されます。

3. 「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」用のユーザー情報を入力し(①)、[登録]ボタンをクリックします(②)。

[利用者設定] 画面に戻ります。

※ ユーザー名の先頭を“TATSUZIN”とすることで、達人用のユーザーとして認識されます。

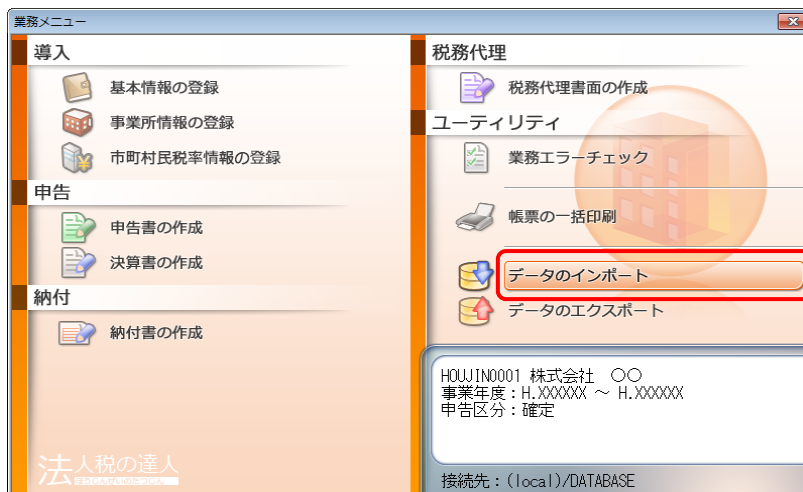
※ ユーザー名以外の入力は任意となりますが、確認しやすい情報を入力しておくくと便利です。

以上で、「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」を使用する前の準備は完了です。

パターン①

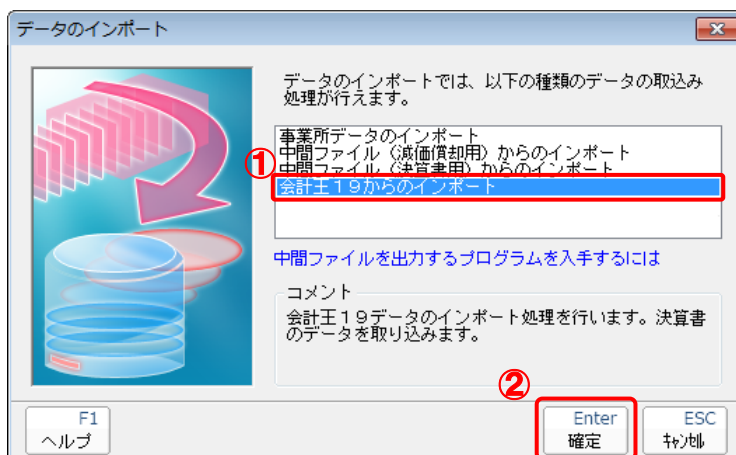
「会計王」と「法人税の達人」が同一コンピュータにインストールされている場合

1. 「法人税の達人」を起動してデータを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



[データのインポート] 画面が表示されます。

2. [会計王19からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



[会計王19 ログイン] 画面が表示されます。

- ※ 「会計王19PRO」を利用している場合は[会計王19PROからのインポート]を、「会計王19 介護事業所スタイル」を利用している場合は[会計王19 介護事業所スタイルからのインポート]をクリックして選択し、[確定]ボタンをクリックします。

3. 「会計王」側で登録した[ユーザー名]及び[パスワード]を入力し(①)、[ログイン]ボタンをクリックします(②)。

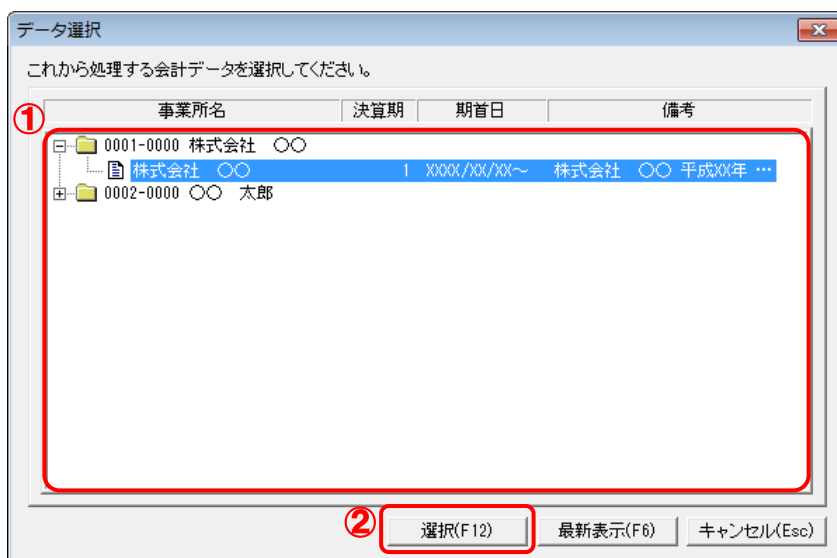


[データ選択] 画面が表示されます。

※ [ユーザー名] には既に“TATSUZIN”が設定されていますので、後に続く文字を入力します。

※ 次回以降、[ユーザー名] と [パスワード] を自動で入力するには、[ログイン情報を保存する] をクリックしてチェックを付けます。

4. 「法人税の達人」に取り込む「会計王」のデータをクリックして選択し(①)、[選択]ボタンをクリックします(②)。



[決算書 — 集計条件] 画面が表示されます。

5. 集計条件を設定し(①)、[実行]ボタンをクリックします(②)。

終了画面が表示されます。

※「会計王」では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、ラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。

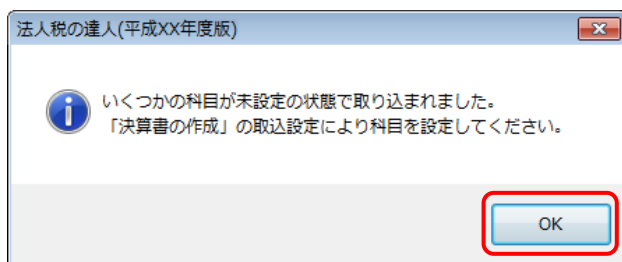
6. [OK]ボタンをクリックします。

[インポート対象設定] 画面が表示されます。

7. [インポート対象帳票]を設定し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。

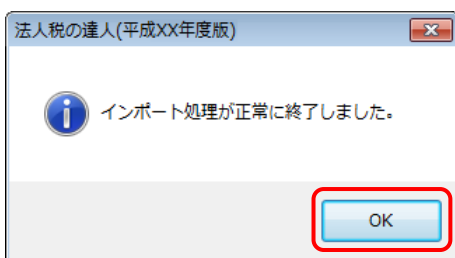
取込設定についてのメッセージが表示されます。

8. [OK]ボタンをクリックします。



終了画面が表示されます。

9. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。データの作成(中間ファイルの作成)が終了すると同時に、「法人税の達人」にデータが取り込まれます。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「法人税の達人」側で取込設定を行う必要があります。詳細な手順については『法人税の達人 運用ガイド』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

パターン②

「会計王」と「法人税の達人」が別のコンピュータにインストールされている場合

1. Windowsのスタートメニュー[すべてのプログラム]―[達人シリーズ]―[連動コンポーネント]―[法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ]をクリックします。

[会計王19 ログイン] 画面が表示されます。

※ Windows 10の場合は、Windowsのスタートメニュー [すべてのアプリ] ― [達人シリーズ] ― [連動コンポーネント] ― [法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ] をクリックします。

Windows 8.1の場合は、[アプリ] 画面に表示されている [法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ] をクリックします。

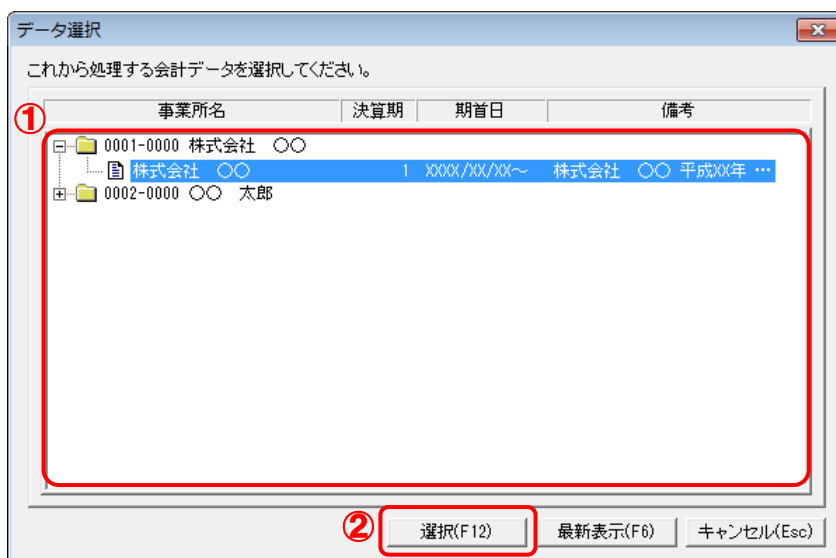
2. 「会計王」側で登録した[ユーザー名]及び[パスワード]を入力し(①)、[ログイン]ボタンをクリックします(②)。

[データ選択] 画面が表示されます。

※ [ユーザー名]には既に“TATSUZIN”が設定されていますので、後に続く文字を入力します。

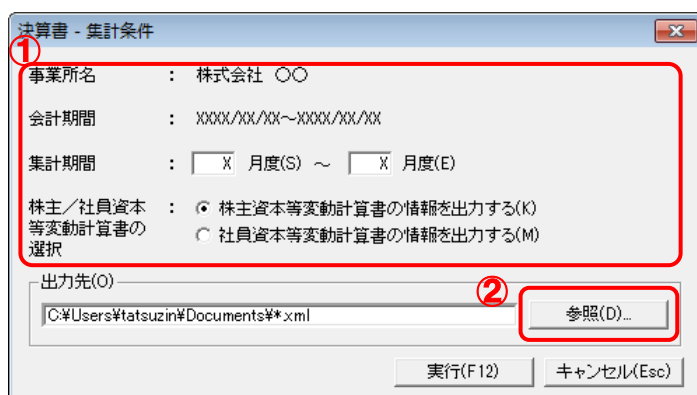
※ 次回以降、[ユーザー名]と[パスワード]を自動で入力するには、[ログイン情報を保存する]をクリックしてチェックを付けます。

3. 「法人税の達人」に取り込む「会計王」のデータをクリックして選択し(①)、[選択]ボタンをクリックします(②)。



「決算書 — 集計条件」画面が表示されます。

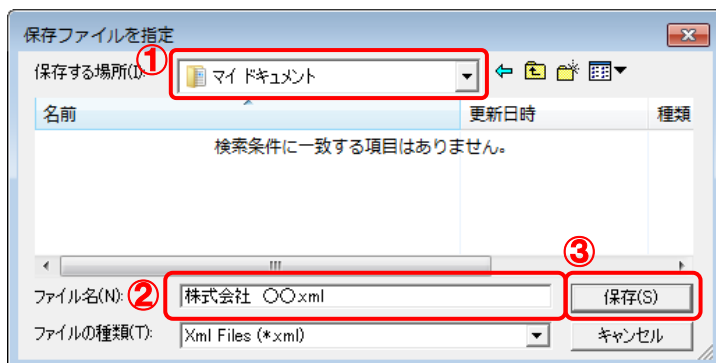
4. 集計条件を設定し(①)、[参照]ボタンをクリックします(②)。



「保存ファイルを指定」画面が表示されます。

※ 「会計王」では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、ラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。

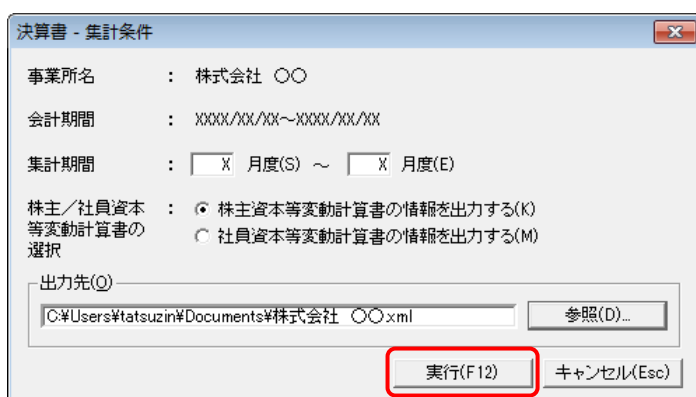
5. [保存する場所](①)と[ファイル名]を指定し(②)、[保存]ボタンをクリックします(③)。



[決算書 — 集計条件] 画面に戻ります。

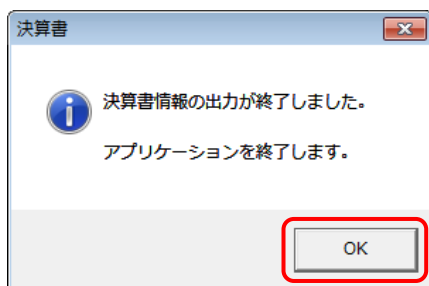
※ 出力先のファイル拡張子にはxmlを指定してください。

6. [実行]ボタンをクリックします。



終了画面が表示されます。

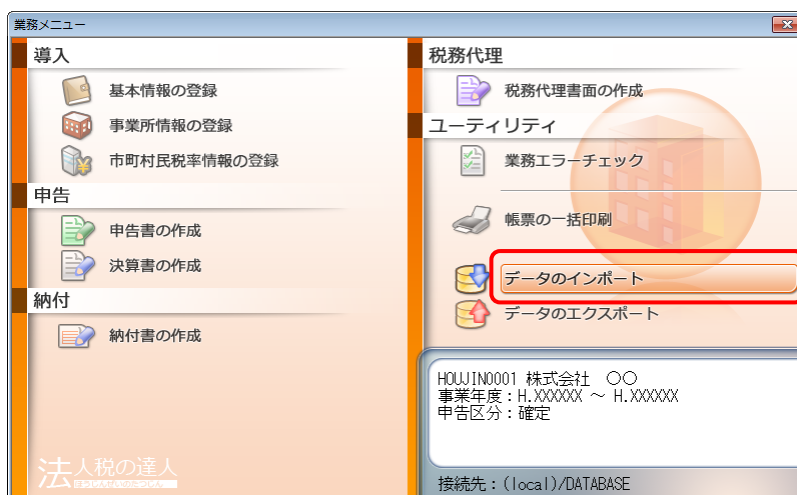
7. [OK]ボタンをクリックします。



手順5で指定した出力先に、中間ファイルが作成されます。

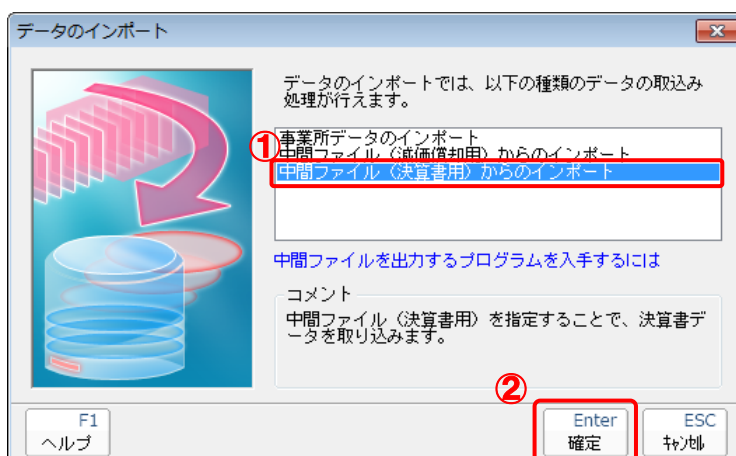
8. 作成された中間ファイルを、USBメモリなどの媒体やネットワークを介して「法人税の達人」がインストールされているコンピュータに移動します。

9. 「法人税の達人」を起動して中間ファイルを取り込む顧問先データを選択し、業務メニュー[データのインポート]をクリックします。



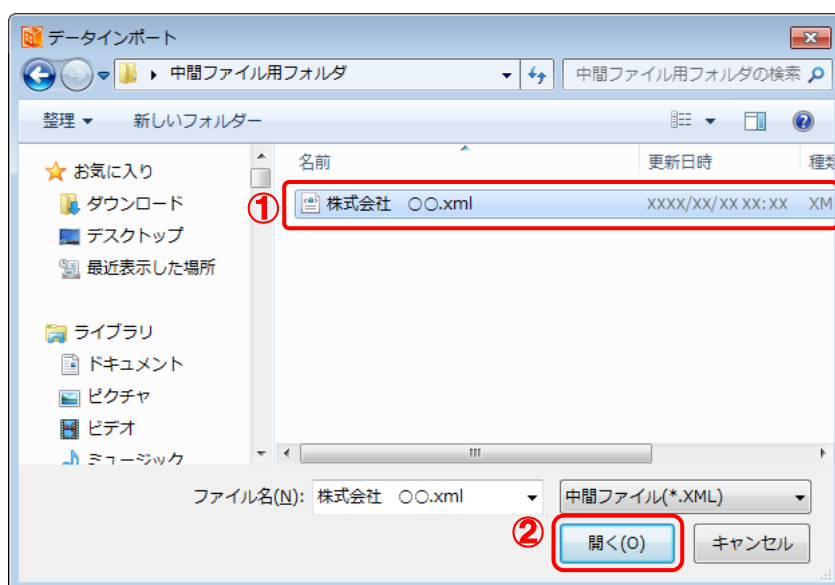
[データのインポート] 画面が表示されます。

10. [中間ファイル(決算書用)からのインポート]をクリックして選択し(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



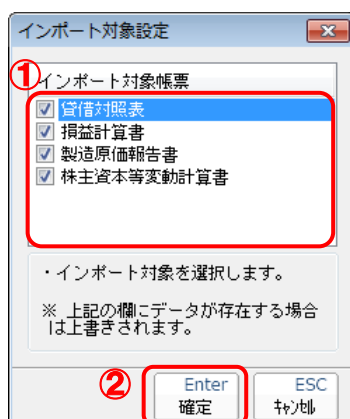
[データインポート] 画面が表示されます。

11. 作成した中間ファイルをクリックして選択し(①)、[開く]ボタンをクリックします(②)。



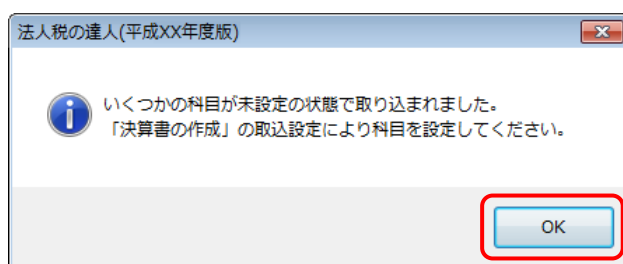
[インポート対象設定] 画面が表示されます。

12. [インポート対象帳票]を設定して(①)、[確定]ボタンをクリックします(②)。



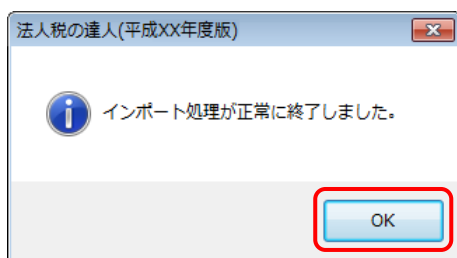
取込設定についてのメッセージが表示されます。

13. [OK]ボタンをクリックします。



終了画面が表示されます。

14. [OK]ボタンをクリックします。



[業務メニュー] 画面に戻ります。

以上で、データの取り込みは完了です。



注意

連動後には、「法人税の達人」側で取込設定を行う必要があります。詳細な手順については『法人税の達人 運用ガイド』－「付録」－「決算書を作成する」－「科目の取り込み設定を行う」をご確認ください。

6.連動対象項目

「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」では、「会計王」の決算書よりデータを取り込みます。

「会計王」から連動するデータ(連動元)

「会計王」からはメニュー「決算」－「決算書」の決算書データが連動されます。

The screenshot shows the '会計王19' software interface. The '決算' (Financial Statement) menu is highlighted with a red box. A red arrow points from this menu to a sample '貸借対照表' (Balance Sheet) table.

貸借対照表 (単位: 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		支払 手形	10,168,739
現 金	20,053,524	買 掛 金	7,836,144
当座 預金	10,628,204	未 払 金	5,500,000
普通 預金	34,469,764	前 受 金	1,000,000
定期 預金	41,926,669	短期借入金	300,000
定期 債金	10,000,000	割引 手形	700,000
現金・預金 計	117,078,160	買掛引当金	4,280,200
(売上債権)		未払法人税等	13,621,096
受取 手形	3,462,228	未払消費税	3,576,185
売 掛 金	14,071,602	流動負債 計	46,982,364
貸倒引当金	△1,376,189	【固定負債】	
売上債権 計	16,157,641	長期借入金	50,800,000
(有価証券)		退職給付引当金	10,000,000
有価 証券	167,622	固定負債 計	60,800,000
有価証券 計	167,622	負債の部合計	107,782,364
(棚卸資産)		純 資 産 の 部	
商 品	3,049,064	【株主資本】	
仕 掛 品	205,956	資 本 金	30,000,000
棚卸資産 計	3,255,020	(資本剰余金)	
(その他流動資産)		資本準備金	7,000,000
前払 費用	575,914	その他資本剰余金	7,000,000
未収 収益	370,100	資本剰余金 計	14,000,000
立 替 金	200,000	(利益剰余金)	
その他流動資産 計	1,146,014	利益準備金	75,500,000
流動資産合計	137,804,457	[その他利益剰余金]	
【固定資産】		任意積立金	33,000,000
(有形固定資産)		別途積立金	30,000,000
建 物	92,400,000	繰越利益剰余金	21,013,675
機械及び装置	11,000,000	利益剰余金 計	159,513,675
車両運搬具	2,000,000	株主資本 計	203,513,675
減価償却累計額	△39,508,418	純資産の部合計	203,513,675
土 地	86,500,000		
有形固定資産 計	152,391,582		
(無形固定資産)			
電 話 加入 権	1,200,000		
無形固定資産 計	1,200,000		
(投資その他の資産)			
出 資 金	10,000,000		
敷 金	3,900,000		
投資その他の資産 計	13,900,000		
固定資産合計	167,491,582		
【繰延資産】			
繰延 資産	6,000,000		
繰延資産 計	6,000,000		
資産の部合計	311,296,039	負債・純資産の部合計	311,296,039

「法人税の達人」に連動するデータ(連動先)

「法人税の達人」に連動する帳票は以下のとおりです。次ページ以降の各画面の網掛け部分が連動対象項目です。

決算書

貸借対照表
損益計算書
製造原価報告書
株主資本等変動計算書
社員資本等変動計算書
個別注記表



注意

設定について：

「法人税の達人」にデータが取り込まれた直後、可能な限り自動的に設定が行われます。データを取り込んだのち、「法人税の達人」の〔取込設定〕画面にて設定を確認してください。

取込設定 (貸借対照表)

インポートされた項目の金額を法人税の達人で使用する科目に設定します。
設定後に<F11 取込実行>キーを押下すると金額が決算書に反映されます。

法人税の達人で使用する科目が未設定の場合はインポートされた項目の金額は決算書に反映されません。該当項目で<Enter 選択>キー押下により科目の選択を行ってください。

インポートされた項目	金額	法人税の達人で使用する科目
流動資産		
現金	20,053,524	現金
当座預金	10,628,204	当座預金
普通預金	34,463,764	普通預金
定期預金	41,926,668	定期預金
定期積金	10,000,000	定期積金
受取手形	3,462,228	受取手形
売掛金	14,071,602	売掛金
貸倒引当金	-1,376,189	貸倒引当金
有価証券	167,622	有価証券
商品	2,003,064	
製品	1,046,000	製品
仕掛品	205,956	仕掛品
前払費用	575,914	前払費用
未収収益	370,100	未収収益
短期貸付金	200,000	短期貸付金
有形固定資産		
建物	92,400,000	建物
機械及び装置	11,000,000	機械及び装置
車両運搬具	2,000,000	車両運搬具
減価償却累計額	-39,508,418	減価償却累計額
土地	88,500,000	土地

右側ボタン: F1 ヘルプ, F2 閉じる, F7 全消去, F9 印刷, F11 取込実行, Enter 選択

個別注記表について：

「会計王」のメニュー〔決算〕－〔決算書〕－〔決算書作成〕画面の〔印刷する注記事項を選んでください。〕画面にて、〔注記入力方法〕－〔注記表を「法人税の達人」へ連動可能な形式で入力する〕をクリックしてチェックを付けると連動可能となります。

株主資本等変動計算書について：

「会計王」で入力した変動事由の入力内容は連携しません。

データを取り込んだのち、「法人税の達人」の「株主資本等変動計算書」にて入力して該当する個所に入力してください。

集計条件について：

「会計王」で設定した決算書作成における集計条件は連携しません。

社員資本等変動計算書について：

「会計王」では「社員資本等変動計算書」の作成はできませんが、連動コンポーネントのラジオボタンの選択により「社員資本等変動計算書」としてインポート可能です。

修正の必要のある勘定科目について：

「会計王」にて、以下の科目性格を設定した勘定科目の期首残高や仕訳が入力してある場合、正しい分類に出力することができません。

『【固定資産】』

『貸倒引当金（固定資産）』

『減価償却累計額（固定資産）』

「会計王」の勘定科目設定画面にて、科目性格を「有形固定資産」「無形固定資産」「投資その他の資産」のいずれかに設定してから出力処理を行ってください。



貸借対照表

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
資産の部		資産合計
流動資産		流動資産合計
当座資産		
現金及び預金		現金及び預金合計
現金		
小口現金		
預金		
当座預金		
郵便振替貯金		
普通預金		
郵便貯金		
通知預金		
納税準備預金		
貯蓄預金		
その他の流動性預金		
定期預金		
定期積金		
積立預金		
別段預金		
特定金銭信託		
その他の固定性預金		
その他の預金		
受取手形(純額)		純額

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

損益計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
売上高		売上高の合計額
営業活動による費用・売上原価		
商品売上原価		
商品期首たな卸高		
当期商品仕入高		
合計		
商品期末たな卸高		
完成工事原価		
兼業事業売上原価		
期首たな卸高		
当期仕入高		
仕入値引及び戻し高		プラスの金額を登録
仕入割戻し高		プラスの金額を登録
その他の仕入高		
合計		
期末たな卸高		
一般販売売上原価		
役務原価		
運送原価		
当期運送原価		
割賦売上原価		
受託販売売上原価		
フランチャイズ売上原価		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない

☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 開じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

製造原価報告書

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
仕入原価		
期首たな卸高		
商品仕入高		
仕入値引・戻し高		
合計		
期末たな卸高		
材料費		当期材料費合計額を登録
期首原材料たな卸高		
当期原材料仕入高		
非課税原材料仕入		
薬品仕入高		
診療材料仕入高		
給食材料仕入高		
医療消耗備品仕入高		
原材料仕入値引戻し高		プラスの金額を登録
原材料割戻し高		プラスの金額を登録
その他の原材料仕入高		
合計		
期末原材料たな卸高		プラスの金額を登録
主要材料費		
補助材料費		
労務費		当期労務費合計額を登録
建設労務費		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 開じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

株主資本等変動計算書

株主資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 | 損益計算書 | 製造原価報告書 | 株主資本等変動計算書 | 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
株主資本		
資本金		
前期末残高		
当期変動額		
新株の発行		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高		
当期変動額		
新株の発行		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
国庫等補助金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		
当期末残高		
指定寄付金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

社員資本等変動計算書

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 社員資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

科目	金額	説明
社員資本		
資本金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		集計表示
当期末残高		
国庫等補助金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		
当期末残高		
指定寄付金		
前期末残高		
当期変動額		
当期変動額合計		
当期末残高		
その他資本剰余金		

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない
☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 閉じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

個別注記表

決算書の作成

貸借対照表 損益計算書 製造原価報告書 株主資本等変動計算書 個別注記表

検索 黒字科目：基礎勘定科目 灰字科目：拡張勘定科目

注記事項	設定内容
継続企業の前提に関する注記	
重要な会計方針に係る事項に関する注記	
資産の評価基準及び評価方法	
有価証券の評価基準及び評価方法	
たな卸資産の評価基準及び評価方法	
固定資産の減価償却の方法	
引当金の計上基準	
収益及び費用の計上基準	
その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項	
金利の取得原価算入	
その他	
項目名	
内容	
会計処理の原則又は手続の変更	
表示方法の変更	
貸借対照表に関する注記	
担保資産及び担保付債務	
資産の部から直接控除した貸倒引当金	
流動資産	
投資その他の資産	
有形固定資産の減価償却累計額	
保証債務額	
受取手形割引高	

☒ 金額又は値がない拡張勘定科目を表示しない

☐ 金額又は値がない科目を表示しない

F1 ヘルプ
F2 開じる
F3 検索
F5 企業情報
F7 利益処分
F9 印刷
F11 取込設定
F12 漢字
Enter 選択

7.アンインストール方法

「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」をコンピュータからアンインストールするには、以下の手順で行います。



注意

アンインストール作業中に「ユーザーアカウント制御」画面が表示されることがあります。その場合は「はい」ボタンをクリックして作業を進めてください（必要に応じてパスワードを入力します）。

1. Windowsのスタートメニュー[コントロールパネル]をクリックします。

「コントロールパネル」画面が表示されます。

※ Windows 10の場合は、Windowsのスタートボタンを右クリックし、表示されるメニューから「コントロールパネル」をクリックします。

Windows 8.1の場合は、「アプリ」画面に表示されている「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」を右クリックし「アンインストール」をクリックし、手順3に進みます。

2. 「プログラムのアンインストール」をクリックします。

「プログラムのアンインストールまたは変更」画面が表示されます。

※ 「コントロールパネル」画面をアイコン表示にしている場合は、「プログラムと機能」をクリックします。

3. 「法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ」をクリックして選択し、「アンインストールと変更」をクリックします。

「プログラムの保守」画面が表示されます。

4. 「削除」を選択した状態で「次へ」ボタンをクリックします。

確認画面が表示されます。

5. 「OK」ボタンをクリックします。

アンインストールが開始されます。

6. 完了画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリックします。

以上で、「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」のアンインストールは完了です。

8.著作権・免責等に関する注意事項

- ・ 「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」のソフトウェア製品全体の著作権、工業所有権の一切の知的財産権はソリマチ株式会社に帰属するものとします。
- ・ 「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」の複製物（バックアップ・コピー）は、不慮の事故に備えて1部のみ作成することができます。
- ・ 「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」を使用した結果の損害及び影響について、原因のいかんを問わず、弊社及びソリマチ株式会社は一切の賠償の責任を負いません。
- ・ 「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」のプログラム及びドキュメント等の一部または全部をどのような場合でもその形態を問わず無断で解析・改造・配布等を行うことはできません。
- ・ 「法人税の達人（平成21年度以降用）from会計王19シリーズ」のソフトウェア製品仕様は、事前の通知なしに変更することがあります。

**法人税の達人(平成21年度以降用)from会計王19シリーズ
運用ガイド**

平成29年12月11日初版
